

文京区生物多様性地域戦略（素案）区民説明会実施結果

1 区民説明会の開催

(ア) 開催日時

第1回 日時：平成30年12月15日（土） 午前10:30～11:40

場所：シビックセンター4階シルバーホール

第2回 日時：平成30年12月19日（水） 午後6:30～8:00

場所：シビックセンター4階シルバーホール

(イ) 参加人数

第1回2人 第2回6人

(ウ) 意見数

24件

2 意見及び意見に対する区の考え方

No	いただいた意見（要旨）	件数	区の考え方
1	区と協定を結んでいた公園で、協議しながら管理していたが、草が増えてきている状況について苦情がきたことにより、管理していた人達に何も伝えず植え替えをする等、協働・協治と言いながら一方的な行為があった。	1	地域戦略の施策の方向性として、主体間の連携・協働による取組は重要であると考えております。公園の管理等につきましても、適切な対応が必要であると認識しております。
2	小石川植物園で管理・手入れをしていた団体に相談せず、近隣要請に応じて道路拡幅をし、塀際の在来種の植物を移植することなく工事してしまった。	1	地域戦略を策定する目的として、身近な自然や地球上の自然資源を未来に引き継ぐため、生物多様性と都市の発展・再生のバランスを取ることで、自然と共生した持続可能な社会を実現することを掲げています。道路の拡幅工事に当たっては、植物園内の樹木等の移植や伐採などについて、所管する小石川植物園の担当者や所有者である東京大学と協議し、了承を得た上で実施しております。

3	文京区の中に専門家を育ててほしい。色々伝えても3年ごとに職員が変わるので、続いていかない。	1	職員の育成・能力向上の観点から職員の異動等も行われておりますが、専門知識のある職員育成は急務の課題であると認識しております。
4	環境とは、環境政策課だけで成せることではないので、横断的に各課と係りあいながら進めていくべきである。	1	地域戦略は、関係各課と連携しながら策定しています。戦略に記載している具体的な施策については、情報提供等を行いながら関係各課で連携して取り組み、進行管理をしていく予定です。
5	住宅の緑はある程度敷地面積がないといけないので、土地の細分化を禁止する文京区独自の条例などをつくるべきだと考える。	1	住宅地の細分化を禁止する条例制定につきましては、様々な視点からの検討が必要と考えております。区としては、限られた空間で手づくりで緑化が図れるような啓発を行っていく予定です。
6	区民は、緑のことは喜んで協力するのでお互いによく連携をとってほしい。みどりの環境を保全することが、区と民間管理者との間に違いがあるので、区はもっと住民との話し合いを行ってほしい。	1	地域戦略の施策の方向性として、主体間の連携・協働による取組は重要であるとと考えております。
7	行動計画について、小さな冊子などで、浸透させていくことをお願いしたい。年齢的には、SNSは読みにくい。	1	行動計画については、HP等での周知だけでなく、コラム等でもわかりやすく掲載していきます。
8	生物多様性の言葉の定義をしっかりとしたほうがよい。	1	本戦略において、生物多様性の概要や、私たちの暮らしとの関係性について記載させていただいております。
9	具体的にどういうアセスをして区内がどういう状態になっていて、その状態を守っていくのか。	1	定期的に専門家による調査を実施し、区内における動植物種や生態系の変化を把握したうえで、施策の見直しを検討していこうと考えております。

10	<p>緑の連続性を実現するために、ただ緑を配置するだけでは、あまり効果が無い場合もある。例えば樹種の選定にまで配慮されるのか。</p> <p>小石川植物園の一部が、ネットワークを作るために削られた。そのようなことが起こって欲しくない。</p>	1	<p>地域戦略策定後に作成予定の、緑化ガイドブックに基づき、可能な範囲で緑の質を確保するよう努めてまいります。</p>
11	<p>行動計画で、節水・節電をする。ということがあるが、その節水・節電とは誰に対するものか。家庭、事業者、行政等の水・電気を使用している主体別の内訳が見たい。節水・節電等を一般家庭に求めてもその効果は大してないと感じている。効果が一番あるのは、一番多く使っているところなのではないかと思う。全体像を見せてほしい。</p>	1	<p>エネルギー使用の主体別内訳や区の全体像については、「文京区地球温暖化対策地域推進計画」において把握しており、HPでも示しているものでございます。</p>
12	<p>現地調査は、今回初めて行ったのか。今までのデータはないのか。</p>	1	<p>現地調査は、今回の地域戦略の策定にあわせ、初めて実施しました。</p>
13	<p>環境政策課で生物多様性を推進しようとしているが、みどり公園課等道路の街路樹を担当している課などは連携しているのか</p>	1	<p>地域戦略は、関係各課と連携しながら策定しており、具体的な施策については、連携して取り組み、進行管理をしております。</p>
14	<p>緑の基本計画がある中で、あらためて生物多様性の戦略を作った区の想いを教えて欲しい。都市生活者が消費行動を通じて、世界の生物多様性に影響を与えている点は、重要と考えている。行動の内容について、区の公共調達への取り込みや、区内の小売店等に営業するにあたり、そういったポリシーを持つことを努力義務にしてほしい。</p>	1	<p>地域戦略の目的にもありますとおり、身近な自然や地球上の自然資源を未来に引き継ぐため、自然と共生した持続可能な社会の実現を目指してまいります。</p>
15	<p>文京区の面積に対して、緑の比率はどれくらいか。</p>	1	<p>緑被率については、平成24年度の緑地実態調査が最新の数値であり、18.1%となっております。</p>

16	文京区は学校が多いが、そういう地域は生物多様性の対応がしやすいありがたい地域である。文京区もすばらしいということを、次世代に伝えていきたい。区役所の職員は部署が変わるので、前担当者の思いが引き継がれていかないが、この件についてはそうなってほしくない。	1	地域戦略における理念や考えは、区としてしっかりと引き継いでまいります。
17	文京区は緑が多いといっても、周りを見るとたくさん木を切っている。保護樹林も切られている。そういう関係は環境政策課の仕事ではないのか？	1	保護樹林については、環境政策課の所管ではありませんが、個人所有のものについては区の権限は及ばないものと考えております。
18	文京区に緑地が多いといわれたが、文京区は斜面地がたくさんあって、そこに緑がたくさんあったが、開発でなくなってしまっている。現状の緑の調査結果もなく、調査データがあって、到達目標・達成目標がないと、非常に弱い感じがする。	1	緑地実態調査については今年度実施しているため、地域戦略の目標値における緑の状況については、今後改定予定の文京区緑の基本計画で定められる指標を、本戦略の指標としても活用する予定です。
19	事業者に対して、例えば業者が建物外構の木等を決めるときに、その地域の生物多様性に配慮した種を提案すること等はできないのか。	1	ガイドブックに基づき、可能な範囲で緑の質を確保するよう努めてまいります。
20	生きもの写真館はこれから新しく始めるのか。写真館のPRは区報やHPだけではなく、多くの人に目が触れるような周知をお願いしたい。	1	生きもの写真館は新規事業として開始します。 たくさんの方の投稿がなされるよう、PRや周知に努めてまいります。
21	生きもの写真館は区民が投稿したデータだけで構成するものなのか。	1	区民から送られてきた区内の生きもの写真だけでなく区として収集した写真と、動植物調査のエピソードを交えながら写真館を運営していきます。
22	住宅の緑は、土地が分割されて減っている。所有者に対して規制をかけるのは難しいと思うが、戦略ができたことで、今までとは違うということを示して欲しい。	1	個別具体的な取組については、関係各署と調整しながら検討していきますが、限られた空間で手づくりで緑化が図れるような啓発を行っていく予定です。

	その地域で今までより緑が少なくなるようなプロジェクトに対しては、地元で説明して納得してもらってから実施することを努力義務にする等してほしい。		
23	生物多様性のためには、日照・騒音・化学物質・風・光害等のそういう影響も大きいと思うが、それについてはどう考えているか。	1	生物多様性においても日照・騒音・化学物質・風・光害等の影響については、公害関係条例及び文京区環境基本計画に基づき、適切に対応してまいります。
24	人材育成とあるが、具体的にどんなふうにするのか。	1	「環境ライフサポーター」などを通じて、引き続き人材を育成してまいります。